

長崎大司教区公式巡礼団
パチカン・イタリアへ
2009年11月24日(火)
12月3日(木)
列福式祭礼のために高見
三明大司教同行のもと長崎
から巡礼団が出發します。

11月・教皇さまの意向
のために祈りましょう
①一般：創られたものへの配慮
②宣教：神の名が平和をもたらすこと
③日本教会：死者のために祈る

よきおとずれ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY
カトリック長崎大司教区報

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
中田 輝次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木博英社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148

わたしたちの友ラザロが
眠っている。しかし、わた
しは彼を起こしに行く。
ヨハネ11章11節

大村、島原・天草で殉教記念ミサ 浦上ではフランスへミサ生中継

第34回大村殉教祭 大村市民会館で記念ミサ

10月18日大村市民会館
において、1千余人の参
加者が、大村の地で信仰
を守り抜いた祖先に思い
をはせ、祈りをささげた。
記念ミサ前には、今年
のテーマ『はじまりガリ
ラヤ・ふたたびガリラヤ
くはじまりおむら・ふ
たたびおむら』を大村
の信徒が演じた。



イエスさまが宣教され
たガリラヤ地方と大村の
村の信徒であるわたした
ちは、ふたたび福音を宣

「ながさき巡礼月間」巡礼ウォーク参加募集

○11月28日(土)浦上コース
テーマ 命を懸けた信仰
に見る福者・ペトロ岐部
講師 レンゾ神父(日本
26聖人記念館館長)
12時30分までに本原教会
集合・受付

○12月5日(土)中野コース
テーマ 長崎からローマ
へ行った福者・中浦ジュ
リアン神父
講師 アギラール神父
(イエズス会)
12時30分までに長崎県庁
(イエズス会本部跡)集
合・受付

○12月12日(土)城山コース
テーマ 伝説的に語られ
る福者・トマス金鍔次兵
衛神父
講師 今田昌樹師(聖ア
ウグスチノ修道会日本分
管区長)
12時30分までに城山教会
集合・受付

○12月19日(土)大浦コース
テーマ 福者・ディオゴ

地は共通点が多く、日本
の宣教の中心であった大

ベ伝える決意を新たに
した。
記念ミサにおいては高
見大司教が説いた、毎日
の生活の中で神を信じ人
を愛することが福音宣教
に通じている、という言
葉に勇気をいただいた。
来年の大村殉教祭は9月
5日開催予定。

島原・天草殉教記念 聖体礼拝とミサ

10月10日(土)午前11
時、原城址での開式ミサ
に続いて24時間の聖体礼
拝と黙想が始まった。韓
国・東京・大阪・神奈川・
大分・福岡・熊本そして
長崎教区の修道者・神学

昭和30年代の初めのこ
ろ、浦上教会は仮聖堂で、
境内にはまだ原爆で壊れ
た天主堂の瓦礫が山積み
してありました。けいこ
の時その周りで遊びなが
ら「誰がこんなに壊した
とやろか?」「きれかった
やろな!」と思ったもの
です。父が教会の鐘撞き
や香部屋係をしていた関
係で、連れられていつて
境内で遊んだり夕暮れ時
には鉄塔で撞く鐘の音を
聞いたり、今思えば、父
はわたしをその道へ導
こうとしていたのかもしれ
ません。

生・志願者・信徒の参加
があり、延べ400人余
で1時間ずつの祈りのパ



の司祭と300人余の神
学生、志願者、修道者、
信徒が心をひとつにして
殉教者をたたえ、その信
仰の恵みを祈った。
古巣警神父は説教の中
で「歴史的出来事に招か
れ、立ち会った人のその
後の使命をどう生きる
か」を問い掛け、参列者
はその話に魅了された。

浦上教会のミサを フランス2が生中継

10月18日(日)夜6時
フランス国営テレビが浦
上教会のミサを生中継し
た。「フランス2」では日



本の中の「科学者の信仰
というエッセー」にも深い
感銘を受けました。そこ
には「たとい人が最大の
努力をはらってもついに
達する所は真理の近似値
である。真理を把握する
道はただ一つ。カトリッ
ク信仰のみ」と書いてあ

「司祭が司祭であるために」⑤

主はこのわたしにも
声をかけてくださった

山田 良秋



家を亡くしたが、再婚し
て子どもが生まれてよ
かった」と書いてあり、
あらためて感慨深い思い
がしました。
川崎の医療機器の工場
に就職した後も、永井博
士の本を何冊か見つけ、
『ロザリオの鎖』という



三牧権子氏作中浦ジュ
リアンの絵が祝福された。
曜日午前11時にミサを
放映し、年に数回は、ア
ジアやアフリカでのミサ
を中継している。この中
継で、フランスのテレビ
視聴者が日本のカトリッ
ク信者、とくに被爆地長
崎の信者と出会い、世界
宣教の日にあたる主日に
特別な方法で共に祈るこ
とができた。

有馬川巡礼地起工式

南島原市・有馬川の
中州で殉教した高橋主水ら
8人の福者。昨年の列福
を記念して現在、川のほ
とりに説明板と木の十字
架が建っているが、新た
に祭壇と8本の柱を設置
する起工式が、殉教の日
にあたる10月7日に山内
実師らの司式で行われた。
祝別式は12月19日。

中浦ジュリアンの 絵をローマで祝福

天正遣欧少年使節ゆか
りのサンタ・マリア・デッ
ロルト教会で10月18日、

するようになりまし
た。その時、司祭の働き
の大切さを目の当たりにし
た。わたしは成人したこ
ろ、その一冊を手にとつ
てめくってみました。す
ると贈呈のメモがはさま
れていて、博士の自筆で
「市太郎さんは原爆で一
書画を眺めていました。
また、古びた博士の著
書も何冊が残っていました
た。わたしは成人したこ
ろ、その一冊を手にとつ
てめくってみました。す
ると贈呈のメモがはさま
れていて、博士の自筆で
「市太郎さんは原爆で一

神父さまはわたしに
「まだ司祭になれるよ」
とか「助祭になれるよ」
と時々呼び掛けてくださ
いまして、なかなか最
後の一歩を踏み出せず、
ロザリオを唱える日々が
続きました。

ある時、召命体験黙想
会があると聞いて心が動
きました。会社帰りに教
会に寄って神父さまに申
し込もうと出発したもの
の、途中ためらう気持ち
が出て、那須高原の牧場
で車を止めしばし考える
ことにしました。

その時、神父さまの言
ひを聞いて、心から
「えー」とか「あー」と
か言わないから、分から
なくとも長くは感じな
かった▼188福者の記
録を読んでいると、死の
間際にすばらしいメッ
セージを残している。処
刑にあたる人も、信仰を
同じくする人も、張り詰
めた空気最後の言葉を
聞いたに違いない。6日
間働かずくめでミサに
やってくる信徒が教会で
充電できる場を別に探し
ていく。

聖書愛読マラソン始まる

10月4日(日)、第7回
聖書愛読マラソン開会式
が長崎大司教館で行われ
7地区の代表者や主催者
ら約40人が集まった。
高見大司教は「聖書は
とつぎにくいかもけれ
ませんが、よく味わって
みてください。1日1回
でもイエスさまの言葉を
考えたり実行したりする
とよいかと思ひます」と
励ました。代表者は大司
教から聖書と関連DVD
を受け取り、それぞれの
地区へ持ち帰った。今後
来年3月まで、小教区な
どで読み進めていく。

	誤記	訂正		誤記	訂正
宣 教 委 員 会	1,335,132	1,188,755	青 少 年 委 員 会	1,500,000	1,500,640
生涯養成委員会	3,650,000	4,261,112	福 祉 委 員 会	461,858	244,169
信仰教育委員会	2,400,000	2,178,860	工・諸宗教委員会	755,000	754,715
典 礼 委 員 会	1,500,000	698,646	教 区 評 議 会	4,440,000	1,643,447
広 報 委 員 会	5,428,818	6,526,596	本 部 事 務 室	6,194,559	6,519,536
家 庭 委 員 会	162,230	397,666	財 務 運 用 資 金	0	2,265,786
召 命 委 員 会	800,000	447,669			

時間を感じさせないで、
そのひとときを充実して
過ごせることがある。フ
ランス国営テレビが生中
継した浦上教会でのミサ
は、そのようなひととき
だった。1時間でミサが
終了したが、実感として
はその2倍の内容のある
ミサだった。この日の様
子に触れた長崎教区にあ
る信徒のネット掲示板に
は、フランスで中継を見
て、感動的だったと便り
を寄せてくれた人がいた
という▼一方で、ミサが
長くて退屈だという声は
昔も今も聞えてくる。
何が言いたいのかわか
らない説教を聞かずに、タ
バコを2本吸って戻って
きたが、まだ説教が続
いていたとか、2度居眠り
をして目が覚めたがまだ
説教が終わってなかった
などの類である。ミサが
長く感じるかそうでない
かは、ほとんど説教にか
かっているらしい▼中継
されたミサの中で、説教
は現地の人に向けたフラ
ンス語だった。まったく
分からなかったが、緊張
感を持って聞いていた。
用意した原稿を、大司教
は流暢に読み上げていた
「えー」とか「あー」と
か言わないから、分から
なくとも長くは感じな
かった▼188福者の記
録を読んでいると、死の
間際にすばらしいメッ
セージを残している。処
刑にあたる人も、信仰を
同じくする人も、張り詰
めた空気最後の言葉を
聞いたに違いない。6日
間働かずくめでミサに
やってくる信徒が教会で
充電できる場を別に探し
ていく。

いかに信仰を伝えるか広い視野を 富永氏

世界の人のつながりを深めたい 市瀬氏

福者を学び生活との一致に努力 横山氏



1981年2月、長崎にて

2. 小教区、周囲の人でこんなに変わったという事例があればお聞かせください

川上 宝亀教会の役員の人に、列福式の写真集めの

188 福者に続く働き人も求めて

殉教者たちは、今の日本のキリスト者の歩むべき道と、将来の使命と約束をも示しています。

——ヨハネ・パウロⅡ世

ペトロ岐部司祭と187殉教者 列福式1周年記念特集



座談会
(カトリックセンターにて)

座談会参加者
*中村 満師 区評議会議長
*滑石教会、前教区本部事務局次長 *横山ひとみ氏
*赤窄須美子修道女 (東長崎教会、日力連副会長)
*お告げのマリア修道会奥浦修道院 *市瀬元樹氏 早岐教会
*川上武夫氏 *富永結香氏 中町教会
*宝亀教会、前平戸地司会進行 中田輝次師

福者に倣って自己変革の輪広がる 川上氏

神さまを追求し身をもって生きる 赤窄修道女

先人の信仰を顕彰。光を見出そう 中村師

このほど広報委員会の呼び掛けに応じ、司祭修道者、壮年、婦人、青年と多様な構成で座談会を開き、列福式後1年を振り返った。この日の内容を5つにまとめ、列福式が日本社会と日本の教会に与えた変化を探る。また次の世代に、福者が証した信仰を自信をもって伝えるために何が必要か、社会にはどのようにアピールすべきか、貴重な意見をいただいた。

1. 列福式の感動を
どのように受け止めましたか

中田 会場設営の準備はさぞ大変だったでしょう。中村 一番の感想は「よくできた。神に感謝と福者に感謝と、スタッフはもうみんな、参加者皆さんに感謝です。2年がかりの準備、感謝以外にありません。川上 神父様方の参加数だけでも相当多かったようですが、列の前がなかなか動き出さなかった。横山 接待係でしたが、3つほどの部屋は神父様たちでいっぱい。日本中、世界中から集まり感動です。中村 司祭は600人で、申し込み分ではイスが足りず追加して並べたとか。当初は全体で2万人を想定。調整が続く、最終的に3万人となった。よく集まってきたり、多国籍の参加があったのもよかったです。当日は聖歌隊も含め4千人近くが協力、その人たちがいなければならなかった。配布物3万部も信徒でない人たちの助けで用意でき、純心大学から300人以上、救護も280人の体制でした。横山 準備段階では全体のイメージがわからなかったけれど、当日は皆がそれぞれの場で役割を果たし、自分自身をささげていました。教皇代理様と握手し

協力をお願いしたところ、参加だけでなく協力をさせてもらったと逆に喜んでくれた。それに、クルシヨへの参加も積極的な姿勢が見えてきた。

中田 馬込教会で5月と10月のロザリオの時に列福特別委員会編、ペトロ岐部と187殉教者を1項目ずつ読み始め、参加者も少し増えました。

横山 式の感動を家族に伝える人も。去年まで自分はまだ熱心に教会活動しなかったけど今年は頑張るぞ、という人が増えたようです。

赤窄 以前は、殉教者というものをどのように伝えたらよいか、ためらいがありました。でも、式1年位前からカテキスタのシスターたちと協力して取り組み、教材をつくったりした。子どもたちも初めは「なんでこんな目に遭ったのよ」とオレなら絶対逃げる」と言っていたけど、真理のため、神さまを自分のものとしていくため命をささげる、拷問を受けてでも信仰を捨てないというこの素晴らしい美しさ、喜びをしっかりと感じてくれています。絵や作文をかくてもいいし、ある小学2、3年生位の子がイグナチオの絵を描いたのですが、それは、周りに魚がいて海底に沈んでいくけれど目を閉じて幸せそうな顔をした、本当に独創的な絵でした。あるシスターが保護者から聞いた話では、みんながここにきていての絵を描くのでお母さんが「きつかに目に遭って死んだぞ。そんなにここにきて死ぬもんか」と言ったら、「いや、お母さん、うれしかって言って死んだ」と、だからこれほどよくと答えたそうです。真実を伝え、子どもたちはそこをいとも渡り取っていくのだと勇気づけられました。五島も迫害

中村 満師
(滑石教会、前教区本部事務局次長)

赤窄須美子修道女
(お告げのマリア修道会奥浦修道院)

川上 武夫氏
(宝亀教会、前平戸地区評議会議長)

横山ひとみ氏
(東長崎教会、日力連副会長)

市瀬 元樹氏
(早岐教会)

富永 結香氏
(中町教会)

中田 輝次師
(教区広報委員長)

3. 列福式の様子はマスコミで全国に流れましたが、どんな反響があったのでしょうか

中田 マスコミからの問い合わせ内容は、もっと勉強してほしいと思うことも多かったが、列福式が近まるにつれ、記事が変わってきたと感じた。マスコミは式のものについて好意的に取り上げてくれた。川上 未信者の方から、26聖人の他にそんないっぱいおると、聖人と福者との違いはと聞かれたりという話も。列福式で大変でしょうねと言われたこともあった。

富永 シスターからボランティアスタッフを頼まれた友人が、要理を途中でやめていたけど、もう一度教会に、と言っていました。列福式に参加した大学カトリック系、時代の大阪の友人も、雨のなか3万もの人が心を一つに祈る姿を見て、大学時代宿舎で、夜お祈りした時間を思い出したそうです。それをきっかけに、またお祈りを大切にすることができるようになった。自分で調べたり、何かマスコミの影響を受けて心の動きがあったのは、中村 教会側の情報提供が進歩したという実感もある。冊子も関連業者の人に読むようにと30冊は配った。中央協議会のホームページも宣伝・活用した。

4. 列福式開催の地・長崎の一信者として、福音宣教はこうあるべきだという気づきなど

富永 中町教会の青年会には求道者の方が半数います。信者が求道者にどう接していったらいいのか考えさせられます。長崎で信者として生きていくとは、信仰を証していくこととはどういうことなのか、と。他の土地に行つた時に、自分の信仰をそのまま出せるかという点も考慮してどうだろう、とか。

横山 洗礼を受けただけでは信者でなかったのかなと思います。福者たちが命を懸けて証しましたが、そこには自分で選んだ道がありました。高齢化社会私も年をとっていきませんが、神様を信じて自分の生き方をゆだねること、神様とともに生き、お互いに周りに愛情を注いで生きていければと思います。

川上 会場周辺は道路事情も確保できて、信者以外のたくさんの方の協力があった。私たちも何らかの要請があるときは協力すべきだと思います。

中田 列福式を機に、多くの人がキリスト教について関心が高まったと思うますが、今の生き方を教会に結びつける時に、教区一丸となって妨げになる条件を取り除く、それが宣教に結びつくのでは。

中村 現代は家族崩壊、家族単位で殉教した福者たちに学ばなければいけないと強く感じました。それから、キリスト者でない人とかかわって気付いたのは、「善意の人に平和あれ」ということ。警察の助言や駐車場借用の協力、まさに善意の人がたくさんいました。ババ様(前教皇)の来朝も大変よい布石となり、当時のことを伝えると話が通りやすくなった。善意の人とかかわりを教会側がいかにつづけていくか、今回与えられた問い掛けかもしれません。

赤窄 子どもたちが教える準備のため資料を読み、当時の人々があれこれと苦労したのだなと思いましたが、殉教者たちに至る力があったのだなと思えました。真剣に神様と向き合い自分を整えた上でないと、力の宣言はできないと考えさせられました。

市瀬 次兵衛君など実際に訪ねたことを、先日も鹿児島で九州青年キャンプの機会で分かち合いました。自分の中だけにとどめておくのではなく、交流し伝えることで活動の幅が広がっていくと思います。

横山 日力連でも、長崎に行きたい、五島に行きたいとよく聞きます。長崎は信仰の聖地という、訪れることが信仰の証しのように感じる方もいて受け入れ体制が必要。

川上 教会のすぐそばにいる人でも、雰囲気がいまいとと遠くの教会へ行く人もいます。受け入れる方もとられず受け入れる努力が必要だと思います。私も他教区で教会の役員など経験しましたが、長崎の教会とは雰囲気違っていました。まろやかさという、長崎の信者として誇りに思うところはあると思います。

中田 ところでこの先の列福式を列聖式に、など展開があったらと思います。

中村 (列聖条件) 奇跡については明確に報告がないが、ただ、聞いた範囲だと列福式当日の「天候。ある運転手の人の話では、同僚の人が、バイパスを降りてきたらスタジアムの場所、そこだけが雨が降っていたが何事か、ということがあったという。中田 冷たい雨の後の晴れ。列福式は忘れられない、ひとつの記憶になったでしょうね。大雪の長崎で教皇様と会つてない人は結構いますが、列福式はたくさんの方がチャンスをもらったのではないのでしょうか。ダブルで経験した人はないのでしょうか。

市瀬 私は教皇様が来崎したとき、まだ生まれてなかったけど経験しているのです。というのは、母がその(松山競技場でのミサの)ときに洗礼・堅信を受け、私は母のお腹の中にいました。祝福があったから見えない何かに導かれているのかと思います。

5. 列福式は信者である自分にとって、日本の教会にとつてどのようなものだったか

市瀬 日韓学生交流会で出会った人たちが、今回の列福式の話をしました。世界の人のつながって体験を分かち合えるうれしさ。これから日本だけでなく、世界のまだ知らない人も出てくると思います。

横山 学び直ししたい。「伝えられてきたもの」の大きさを理解し、言葉のひとつひとつを噛みしめて生活の中に生かしたい。日力連でのかわりなど折りを大切に、平和につながる活動を目指したい。

富永 京都の殉教者についても学びましたが、もし、将来家庭を持ち母親になった時に子どもにどのように信仰を伝えていくか、女性の志の強さ、温かさを福者たちにも、列福式を学び直ししたい。信教の自由はあっても、DV、虐待、自殺の問題など考える機会となった。自分自身を知って視野を広げたい。

川上 私はスタッフとして参加したことを非常に誇りに思っています。誰でも教会の奉仕活動ができる、と素直な気持ちで周りの人に伝えていき、きつとその時代に応じた方法があるでしょう。子どもたちが大人になって、列福式に参加した体験が生きてくると思う。赤窄 神様に向けて心の姿勢を正し、自分を鞭打つて、出会う人にひとこと声をかける努力をしたい。

中村 滑石教会のステンドグラスには福者たちの名前が入っていて、毎回頭めるたびに感慨深いものがある。学ぶものがたくさんあり、出会いも神様からいただいた。提案提言もあり、これらをどうしていくか考える。日本の教会としては、式の準備のうちに気持ちが高まり、福者たちを顕彰する機会が得られた。自分たちの歴史を振り返ると同時に、学んでいくことの姿勢が得られたのではないかと思います。



長崎県営野球場を埋めた3万人の信徒



教皇書簡
わたくしは、兄弟である以下の司教たち、枢機卿ベトロ・白柳誠一前東京大司教、ベトロ・岡田武夫東京大司教、レオ池田潤大阪大司教、ヨセフ高見三朗長崎大司教、フランシスコ・ザビエル満浦修高松司教、ヨセフ三末篤寛広島司教、ベトロ地主敏夫札幌司教、アウグスチノ野村純一名古屋司教、ベラルド押川利壽夫那覇司教、パウロ大塚喜直京都司教、ラファエル梅村昌弘横浜司教、マルセリーノ谷大二さいたま司教、ドミニコ宮原良治福岡司教、タルチシオ菊地功新潟司教、パウロ郡山健次郎鹿児島司教、マルチノ平賀徹夫仙台司教、ベトロ平山高明前大司教と他の多くの司教たち、および日本の兄弟である全信者の請願を受け、列聖省の助言に基づき、1603年から1639年に日本各地で殉教した神のしもべ、イエズス会盛式誓願修士ベトロ・カス・イ岐部司祭と殉教者である以下の尊者を使徒的権威によって福者の列に加えます。
八代の殉教者・ヨハネ南五郎左衛門、シモン・竹田五兵衛他9人、山口の殉教者・メルキオール熊谷元直とダミアン、薩摩の殉教者・レオ税所七右衛門、生月の殉教者・ガスバル・西玄可他2人、有馬の殉教者・アドリアノ・高橋主水他7人、天草の殉教者・アダム荒川、京都の殉教者・ヨハネ橋本太兵衛、テクラ他50人、小倉、熊本、大分の殉教者・ディエゴ加賀山準人、小笠原玄也、みや他15人、江戸(東京)の殉教者・ヨハネ原主水、広島島の殉教者・フランシスコ遠山甚太郎他2人、雲



入場する司教団



会場の一角を埋めた約600人の司教団

長崎純心聖母会 創立75周年を祝う



長崎純心聖母会は、去る9月21日、長崎市文教町純心学園において創立75周年記念式典を行った。午前10時30分に始まった高見大司教司式による記念ミサは、230余人の会員が参加する中、肅々と執り行われた。

通称「純心聖母会」は、1934(昭和9)年6月9日、当時の長崎教区長早坂久之助司教によつて創立。最初の会員江角ヤスと大泉かつみは、信徒発見のサンタマリア像のもとで誓願を立て、日本人による日本人だけの女子修道会として「聖母の汚れなき心」に奉獻され出発した。かつて、再宣教時代を迎えた日本

西町教会・長崎南山 第2学園創立50周年



西町教会、南山小学校は今年創立50周年を迎え、10月3日南山小体育館で記念式典と感謝ミサ、長崎市内のホテルで祝賀会が開かれた。

記念式典には高見大司教、行政関係者、神言会、日本管区長、歴代の司祭、修道士、卒業生らが出席して行われ、引き続き大司教司式による感謝ミサがささげられた。

4日は西町教会で教区信徒参加の感謝ミサの後、吉田徳子南山短期大学教

レズンブトリスチン修道院 創立50周年記念ミサ

創立50周年を迎えたレズンブトリスチン長崎修道院(長崎市彦見町)で10月12日、高見三司大司教司式で宮原良治福岡司教および司祭12人による共同司式の記念ミサ、信徒50余人も参加、感謝の祈りをささげた。長崎修道院の創立は1

を、パリ外国宣教師は「聖母の汚れなき心」にささげた。そして、世界を驚かせた「信徒発見」の出来事が起こる。創立者早坂司教と協力者シスター江角は、殉教者を育んだ長崎をこよなく愛し、その精神を会の遺産として残した。

純心女子高、10月24日金沢市で開催の全日本合唱大会高校A部門(8、32人)で金賞を受賞した。

公開講座 結婚の秘跡の学び

講師 葛嶋秀信師
―お告げのマリア修道会
お告げのマリア修道会



カテキスタ委員会主催の公開講座「結婚の秘跡の学び」小さな家庭教会、大きな恵みの場」が10月4日同会本部で行われ

講師の葛嶋秀信師(島原教会主任)は聖書や第2バチカン公会議の公文書、また歴代の教皇の回

長崎神学院

1泊体験入学
10月17日、西海市西海の横瀬浦公園の一角に、巡礼地が整備された。午前10時半から、土地を寄進した土井宣博氏、工事関係者、巡礼地整備に協力した市の関係者と、司祭、信徒合わせて60人余が集まり、高見三司大司教が祝別の祈りを唱えた。大司教は、この巡礼地を訪れるたびに、かつての宣教師の熱意に倣うようにと呼び掛けた。

横瀬浦巡礼地整備完成

祝別の祈り



レズンブトリスチン長崎修道院は30人。教皇制禁域を守る観想生活をしている。この横瀬浦は、1562年から2年間外国船の窓口となった。アルメイダ神父やトルレス神父が

勅・書簡などに基づきながら、現代社会における結婚の秘跡の恵みについて話した。

カテキスタら参加者からは諸問題への対応や援助についての質問も寄せられた。幼少のころからの家庭や教会学校における遠い準備、若者への信仰教育における近い準備、そして直前の準備などそれぞれの年代において結婚の秘跡の恵みに気づくようなかわりが求められている。「互いに愛し合いなさい」というキリストのことばを、困難があっても実現する恵みが結婚の秘跡を通して注がれていることをあらためて考えさせられた。

佐世保10人、平戸4人、下五島4人、福岡教区5人。

初日はドッジボールやゲームで親睦を深め、夕食はシスター特製のトルコライス。夜は参加の思い出にミニロザリオ作り。翌朝は感謝のミサの後、神学生による体験談発表があり、熱心に聞き入っていた。参加した子どもたちは

の感想文には「入学したい」、「来年も参加したい」という声があつた。彼らの中からたくさんの召命を祈りたい。「中2中3や、高校からも入学できますので、希望する子がいます」

訪れて宣教し、キリスト信者もいた町。1563年には最初のキリシタン大名大村純忠が洗礼を受け、ルイス・フロイスが上陸した。また純忠の臣で中浦城主小佐々純吉甚五郎の息子中浦ジュリアンは後に司祭となり、西坂で殉教している。

公開聖書講座

講師 江川 憲師
―カトリックセンター



10月15日、公開聖書講座「ルカ福音書と聖パウロ」が南山大学文学部

教授の江川憲師(写真)を講師に招き、カトリックセンターで開かれた。迫害する側からキリストに従う者へと、回心と同時に使命を与えられた

北地区連合婦人会主催の講演会「神の現存を感じる聴くべきで、その福音は空の鳥が巣を作るように広がる。胸が熱くなるよい知らせで救われていく。また一番好きな言葉として「恩



講演会
講師 晴佐久昌英師
―諫早文化会館

パウロは、「すべての人の救いのために自分の問題として書簡を記した。またルカ文書(ルカ福音書と使徒言行録)は、新約聖書の中でこれほどキリスト教の福音宣教が普遍的に万民の救いのために効果を発揮しているもの

はないというくらい、その著作の目的に合ったものとなっていると触れた。江川師は、パウロの信仰の遺産を受け継いだルカが福音書を残してくれた、それが現代のわたしたちまで連綿と受け継がれていると強調し、まとめた。

「寵」を挙げ、自分では何もできない時、神がわからなくなっている時、人間のあらゆる条件を越えて神が働き、神の愛があふれてくる。「そのままだ」と力強く語り掛け、約1200人の参加者の中には涙ぐむ人も。講演後、人々の顔は希望に満たされていた。

ベルクマンス 永尾ヒサエ修道女

(長崎純心聖母会)



9月24日、聖フランシスコ病院で類粘膜炎のため帰天。72歳。五島市生まれ。55年入会、57年初誓願、66年終生誓願。長崎県内、鹿児島、浦和などの幼稚園、保育園で30年余りを幼児教育と教会奉仕に献身。50代から体調をくずし、病氣と闘いながらの勤務となつたが誠実な人柄で明るく積極的に奉仕していた。今年3月発病、7月に聖フランシスコ病院のホスピス棟に入院していた。葬儀、告別式は9月26日、本部修道院で行われた。

上の方々から香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げますとともに故人のごめい福を心からお祈り申し上げます。

香典返し お礼とご報告

長崎大司教区
●濱口昌三様(湯江)
●故ビルジツタ
濱口シヅ子様
長崎カトリック神学院
●楠本幸江様(横浦)
●故ミカエル楠本 宏様



長崎大学医学部有志からスイスのアンリ・デュナン博物館へ「長崎の鐘」レプリカの贈呈式が10月13日同大医学部で行

が決定した。優勝 五島、準優勝 長崎A、3位 佐世保・平戸、4位 長崎B、MVP 浜崎靖彦神父(青

方教会
上五島婦人会
ミニソフトバレー大会
10月4日新魚目総合体育館で開催した。

Aパート優勝 青砂ケ浦、準優勝 青方、3位 土井ノ浦、Bパート優勝 丸尾、準優勝 真手ノ浦、3位 冷水。

ペトロ岐部司祭と187殉教者列福式 公式記録集
A 4判上製128頁(うちカラー38頁) 定価2100円(税込)
日本で初めて行われた昨年11月の列福式の唯一の公式記録集です。カトリック書店にて販売中。
カトリック中央協議会 東京都江東区潮見2丁目10-10
TEL 03-5632-4411 FAX 03-5632-4456

カトリック長崎中央墓園
11月8日(日) 14:00 墓地にて合同慰霊ミサと現地説明会あり。
本年度内購入者に「列福式記念建立」などの刻字・刻図をサービスします。
●個人用納骨櫃(石櫃3段組)も有ります。
お問い合わせ
カトリック中町教会
Kono-ama-church

ながさき巡礼に関する情報・企画・実施など
ご相談ください
長崎巡礼センター
《長崎ステーション》
〒852-8114 長崎市橋口町8-8 深堀ビル1階
(TEL) 095-842-2393 (FAX) 095-865-8191